

基本検査項目

全身の健康状態を総合的にチェックするための標準的な検査セットです。



項 目		内 容
身体測定	身長	身体測定を行います。
	体重	体重測定を行います。
	標準体重	年齢、身長、BMIなどから判定される理想体重です。
	BMI	身長からみた体重の割合を示す体格指数です。肥満度の目安となるものです。
	腹囲	メタボリックシンドロームの判断基準の一つとなるものです。腹部回りの測定を行います。
呼吸器系	胸腹部CT	胸腹部の断層撮影を行います。肺や気管、気管支、肝、胆、膵、脾、腎、副腎などの病変を見つけるために行います。
循環器系	血圧	動脈の血圧を測定します。基準値を超える場合、様々な病気の原因となります。
	心電図	心臓の動きを記録し、検査するものです。心筋梗塞など心臓の病気をみるものです。
消化器系	上部消化管内視鏡	胃カメラ検査を行います。胃がん、胃潰瘍などの胃の病気をみるものです。
	腹部超音波検査	腹部を超音波でみる検査です。主に肝臓、胆のう、すい臓、ひ臓、腎臓などの臓器に異常がないかをみます。
	便潜血	便の中に血液が混じっているかどうかをみる検査です。陽性の場合、がん、潰瘍、ポリープ、痔などが疑われ、大腸カメラ検査を受けていただきます。
血液一般	白血球	感染症や外傷、喫煙やストレス、まれに白血病などで増加します。
	赤血球	赤血球数が多い場合を多血症、少ない場合を貧血と呼びます。
	血色素	血色素（ヘモグロビン）の量をみる検査です。血色素が少ない場合、貧血が疑われます。
	ヘマトクリット	ヘマトクリット値が高い場合には多血症が疑われ、低い場合には貧血が疑われます。ヘマトクリット値は、血液中に占める赤血球容積の割合をあらわしたものです。
	血小板	血小板は、主に出血を止める働きをします。血小板数は、運動後や感染症で高くなり、減少すると出血しやすくなります。
糖尿病系	尿糖	血中のブドウ糖濃度のことです。糖尿病の診断の目安となる検査です。
	血糖	血糖は血中ブドウ糖濃度のことです。血糖は、糖尿病の診断や経過観察、あるいは低血糖を知ることができます。
	HbA1c	ヘモグロビンA1cは、ヘモグロビンにブドウ糖が結合したものです。ヘモグロビンA1cは、過去1か月程度の血糖の状態を反映し、糖尿病の指標とされます。
眼科	視力	視力、近視などの視機能の検査を行います。
	眼底カメラ	白内障、緑内障などの眼疾患や高血圧、糖尿病などの診断に用いられます。ドックでは、無散瞳（目薬を入れない）で検査を行います。

項 目		内 容
肝機能系	総蛋白	栄養状態や肝機能障害などの場合に低下します。
	アルブミン	肝硬変などの肝障害時や腎不全などの腎障害時に低下します。
	総ビリルビン	総ビリルビンは、黄疸の指標です。総ビリルビンの数値が高い場合は、肝障害、胆のう炎などが疑われます。
	A S T (G O T)	G O T (A S T) は、肝臓・筋肉に多く存在する酵素です。G O T (A S T) の数値が高い場合は、ウイルス性肝炎、脂肪肝、アルコール性肝炎、心筋梗塞などが疑われます。
	A L T (G P T)	G P T (A L T) は、肝臓に多い酵素です。G P T (A L T) の数値が高い場合は、ウイルス性肝炎やその他の肝障害などが疑われます。
	L D H	L D Hは、肝臓、心筋、骨格筋などの障害をみる検査です。L D Hの数値が高い場合は、肝炎などの肝疾患、心筋梗塞などの心疾患、貧血などが疑われます。
	γ-G T P	γ-G T Pは、肝機能検査の一つです。γ-G T Pの数値が高い場合は、アルコール性肝障害や胆石症・胆のう炎などが疑われます。
	H B s 抗原	H B s 抗原は、B型肝炎ウイルス感染の有無を調べる検査です。
	H C V 抗体	H C V 抗体は、C型肝炎ウイルス感染の有無を調べる検査です。
腎機能系	クレアチニン	クレアチニンは、腎臓の排泄能力を表します。クレアチニンは、腎機能障害や腎不全などで増加します。
	血中尿素窒素	尿素窒素の数値は、腎機能低下で増加します。
	e G F R	年齢、性別、クレアチニンより計算されます。腎臓の機能が低下すると値は低くなります。
	尿潜血	腎臓、尿管、膀胱、尿道の炎症などで出血しているか調べる検査です。
	尿蛋白	腎臓疾患、尿路系疾患をみる検査です。
	尿沈渣	腎臓などの異常の目安の一つとなる検査です。
脂質	総コレステロール	総コレステロールは肝機能の指標の1つです。数値が高い場合は、動脈硬化などの原因になります。
	中性脂肪	中性脂肪の数値は、脂肪・糖質・アルコールなどのカロリーのとおりすぎ、糖尿病、肥満などで高い値になります。
	H D L コレステロール	H D L コレステロールは、動脈硬化を防ぐ効果があり、「善玉コレステロール」と呼ばれます。低値は、動脈硬化などの危険因子の1つです。
	L D L コレステロール	L D L コレステロールは、動脈硬化を促進するはたらきをすることから、「悪玉コレステロール」と呼ばれます。数値が高い場合は、コレステロールなどのとりすぎが考えられます。
痛風	尿酸	尿酸の数値が高く関節痛を伴う場合は、痛風が疑われます。
血清	C R P	炎症性疾患をみるための検査です。高値では、感染症がまず疑われます。
耳鼻科	聴力	1 0 0 0 H z、4 0 0 0 H z の聴力検査を行います。